

かんたん **準備ガイド**

このガイドでは、ご購入後すぐにご使用いただく方のために、最低限の準備(接続と基本設定)について説明しています。

くわしい説明については、取扱説明書の「準備(接続)」「準備(基本設定)」をごらんください。

なお、本機を正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。

接続時に必要となる分配器(市販)には、1端子通電型と全端子通電型があります。また、分波器(市販)や分配器(市販)には、ケーブル一体型のものや両方を1つにまとめた3分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分配器や分波器を選べばよいかわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

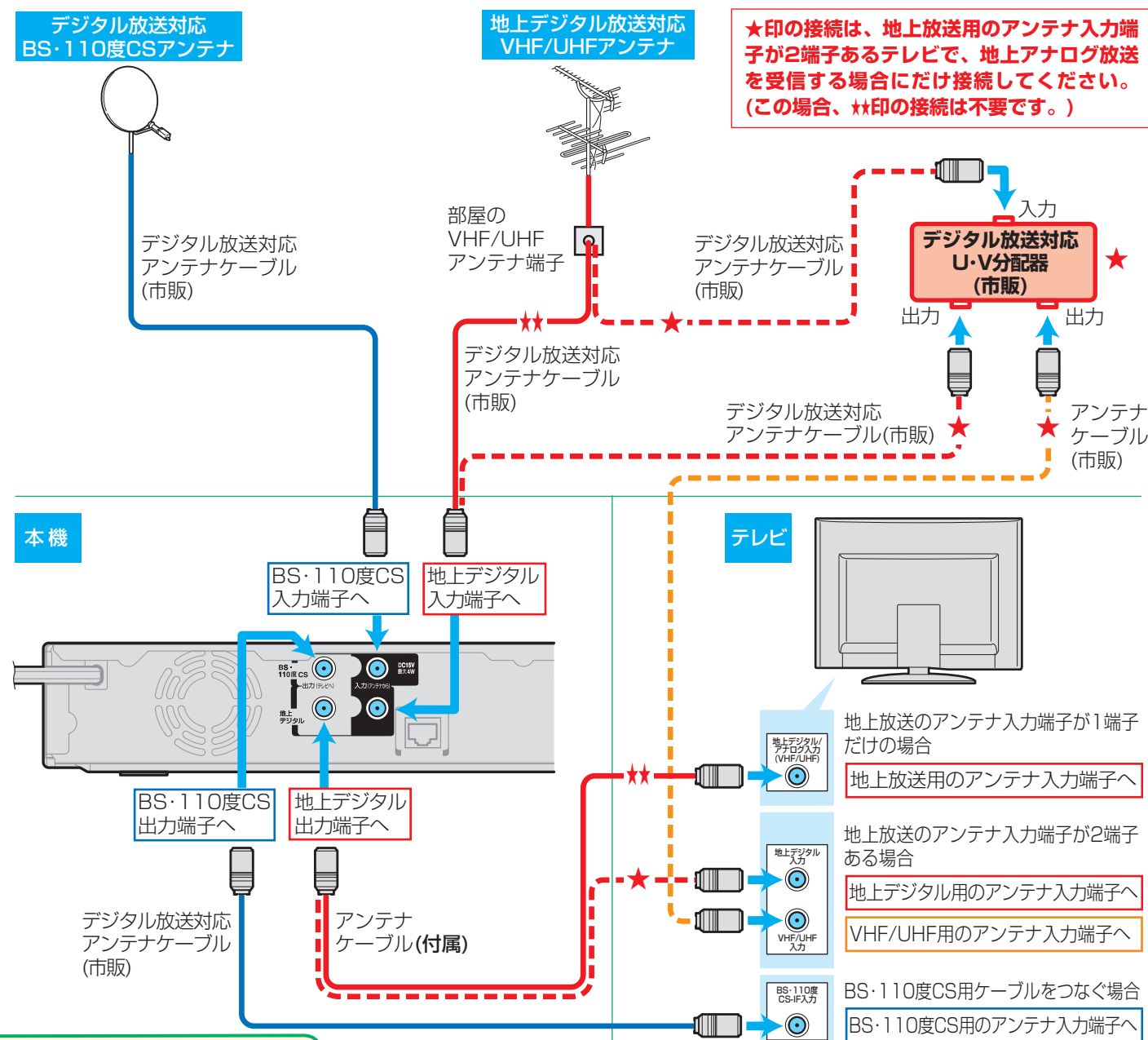
p. は取扱説明書の参照ページです。

電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

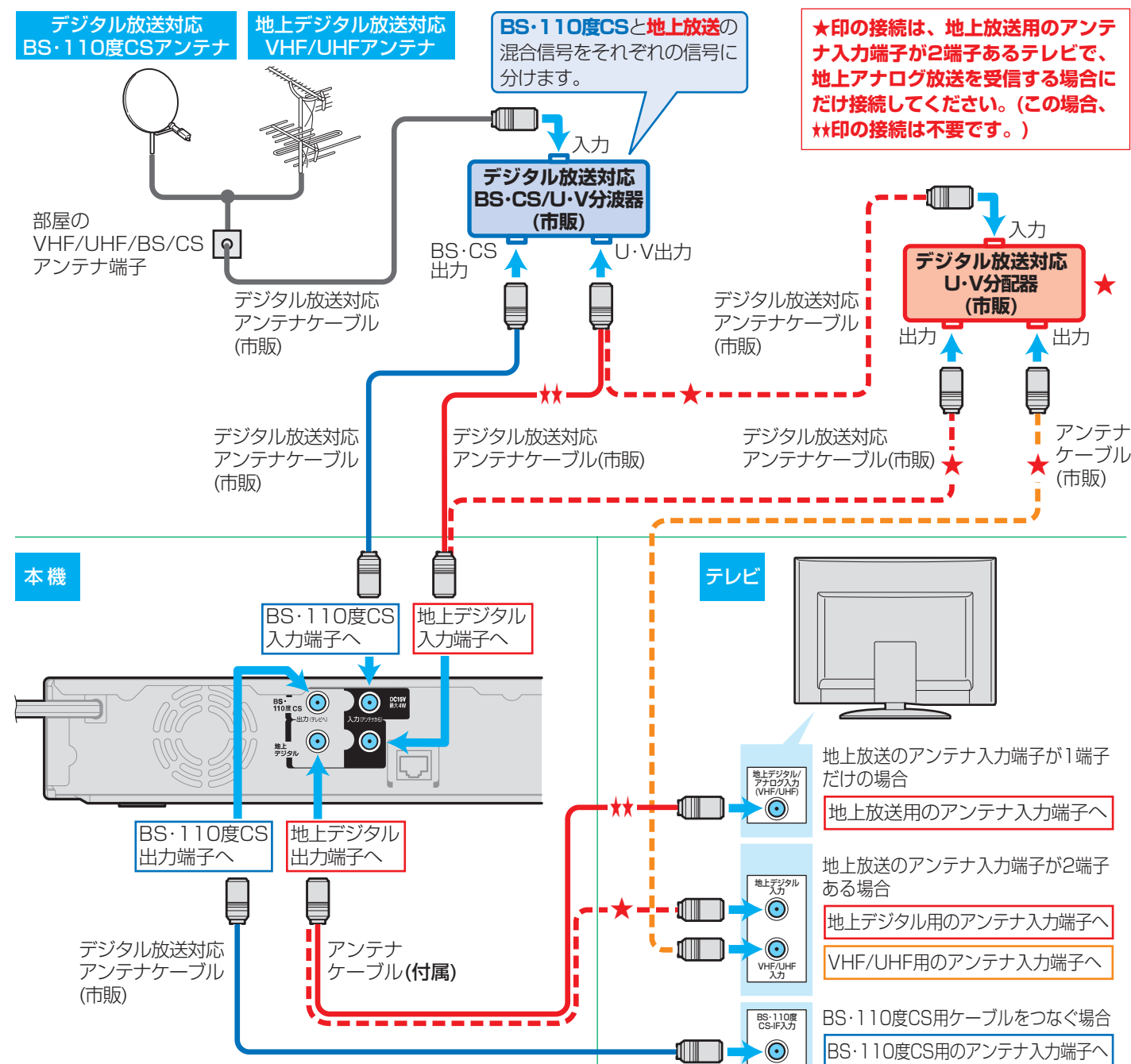
1. まずは、アンテナ線を接続しましょう

p.14

地上放送とBS・CS放送のアンテナ線が別々に部屋まで来ている場合



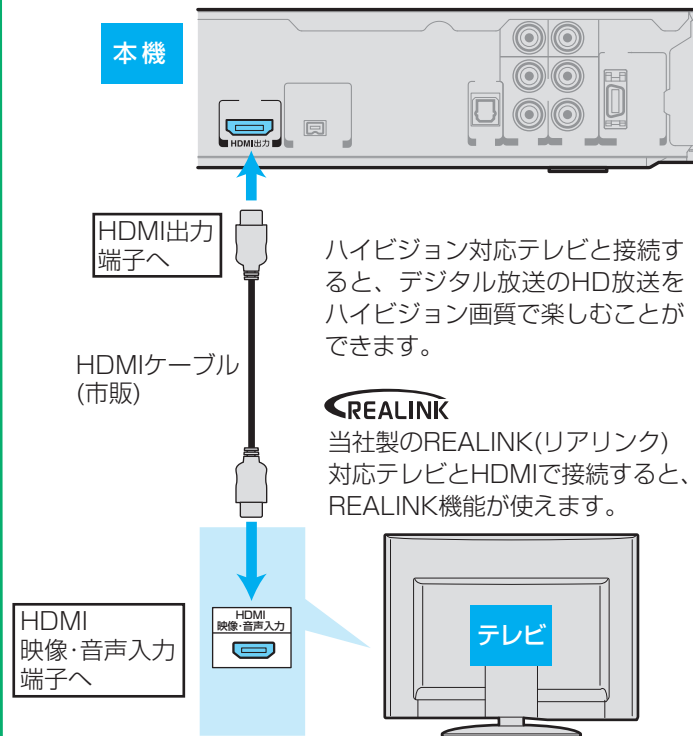
マンションなど、アンテナ線が1つになって部屋まで来ている場合



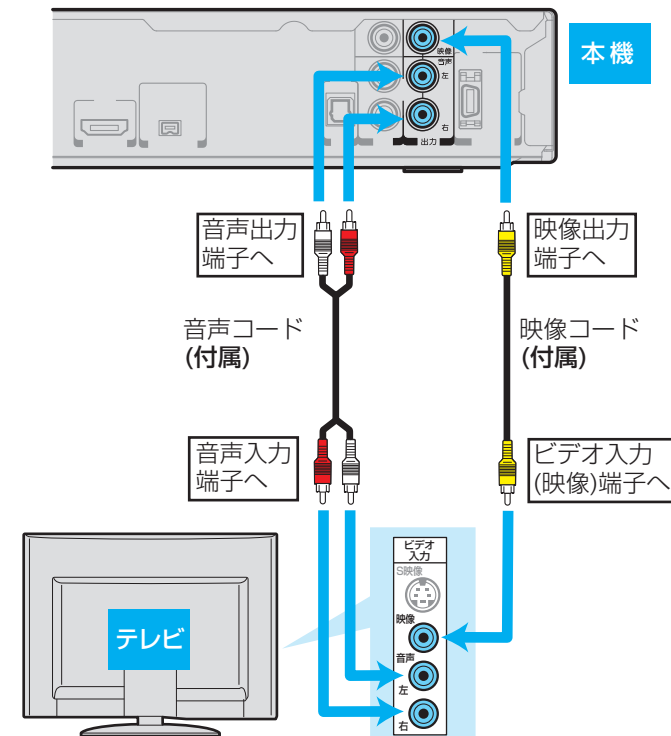
* 1 V M N 3 0 0 7 4 *

2. 次は、映像と音声のコードを接続しましょう p.16

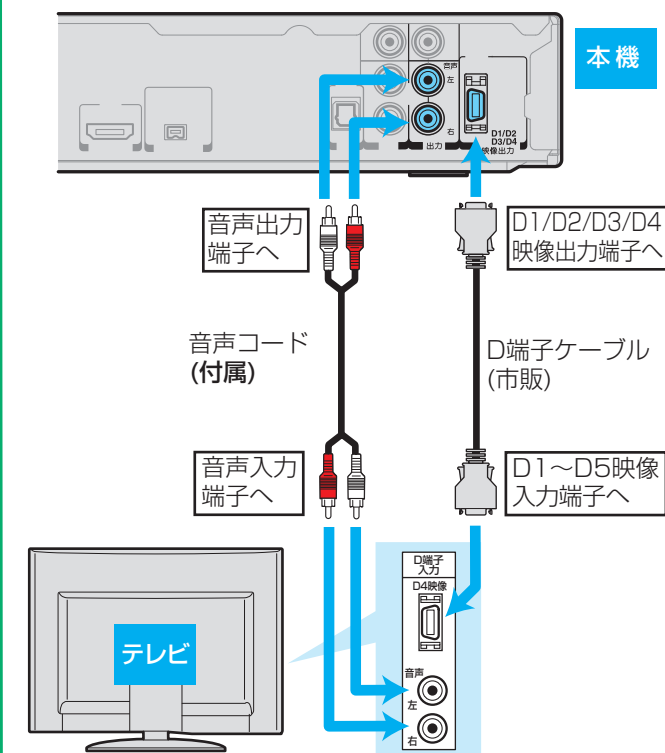
高画質で楽しみたい場合 (HDMI端子で接続)



付属の映像コード・音声コードで接続する場合 (基本の接続)



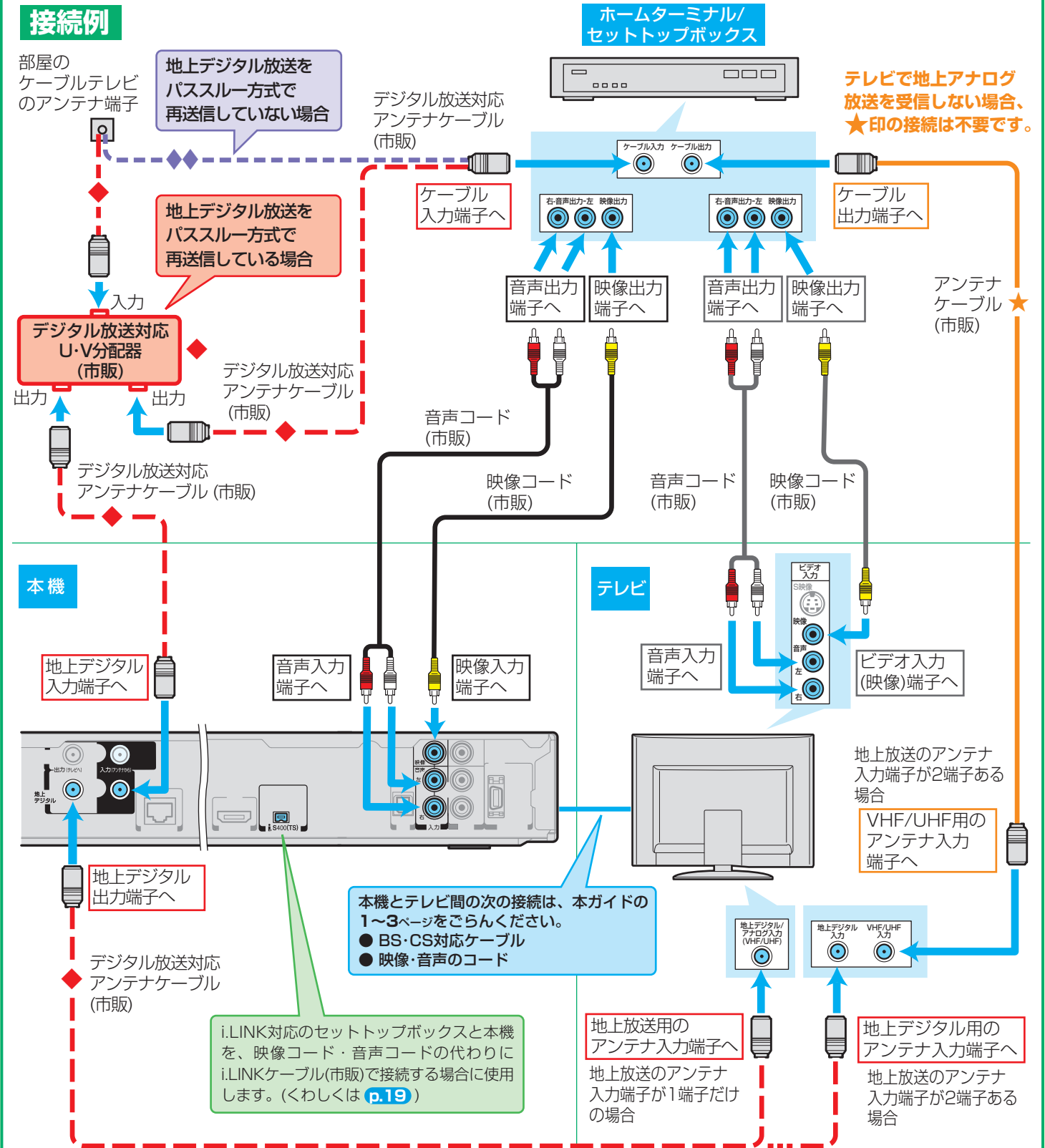
高画質で楽しみたい場合 (D映像端子で接続)



ケーブルテレビ(CATV)で受信している場合は p.18

ケーブルテレビ会社によって仕様や接続方法が異なりますので、くわしくはケーブルテレビ会社にご相談ください。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

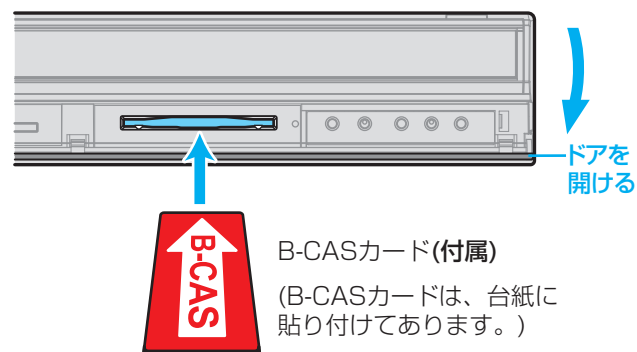
接続例



◆は、ケーブルテレビで地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合にだけ接続してください。

◆◆は、ケーブルテレビで地上デジタル放送をパススルー方式で再送信していない場合にだけ接続してください。

3. B-CAS(ビーキャス)カードを入れましょう p.20



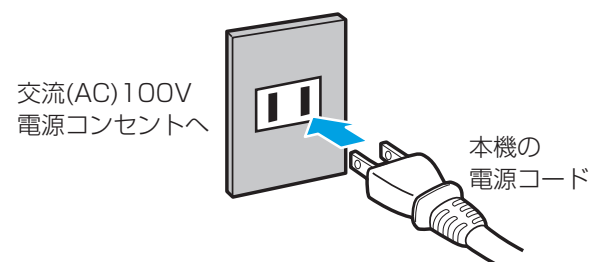
本機でデジタル放送を見るためには、B-CASカード(付属)を本機に挿入する必要があります。

現在、デジタル放送をごらんにならない場合でも、紛失防止のために挿入しておくことをおすすめします。

B-CASカードは、**赤い色**の面を上にして、矢印の向きに挿入します。

B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。

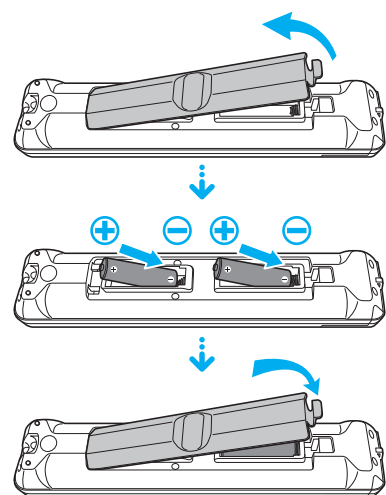
4. 電源コードをつなぎましょう p.23



電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になり、本体表示部に“WAIT”が表示されます。“WAIT”の表示中は、本機の操作はできません。表示が消えると、本機の操作ができるようになります。

システム設定中(本体表示部に“WAIT”を表示中)は、本機の操作はできませんので、設定が終わるまでしばらくお待ちください。

5. リモコンに乾電池を入れましょう p.25



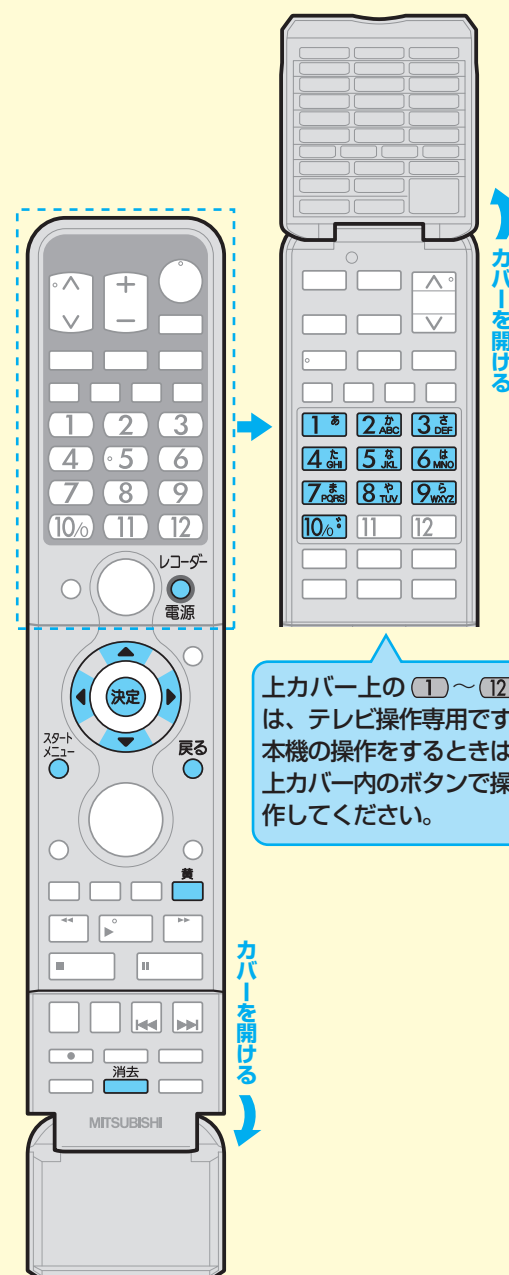
- 1 リモコンの裏面のフタをはずす
- 2 (－)側を先に入れたあと、(＋)側を入れる
 - 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 3 裏面のフタを取り付ける

マンガン単三乾電池(R6)2本を入れてください。(本機には乾電池が付属しています。)

6. らくらく設定をしましょう p.26

気を付けて ● 必ず、放送のある時間帯に行ってください。

らくらく設定は、
 (1) らくらく設定画面を表示する
 (2) 地域設定をする
 (3) 地上デジタル放送のチャンネルを設定する
 (4) BS・110度CSアンテナの設定をする
 (5) REALINK(リアリンク)の設定をする
 (6) らくらく設定を終了する
 の順で設定していきます。

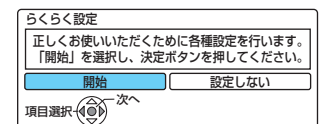


(1) らくらく設定画面を表示する

1.1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1.2 本機の電源を入れる

- レコーダー
- 電源
- “らくらく設定”画面が表示されます。



1.3 “開始”が選ばれているので、そのまま決定する

決定

1.4 確認画面の表示内容を確認し、準備が済んでいれば決定する

決定

付属の「かんたん準備ガイド」で、必要な接続などをご確認ください。準備がお済みでない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を入れてください。

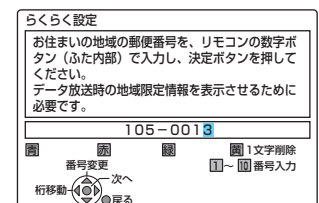
以下の準備はお済みですか？
 ・アンテナ線の接続
 ・B-CASカードの挿入

よろしければ、決定ボタンを押してください。

(2) 地域設定をする

2.1 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

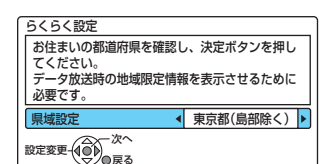
1 あ～10 決定



入力間違いときは、**黄** または **消去** を押します。

2.2 お住まいの都道府県を確認し、決定する

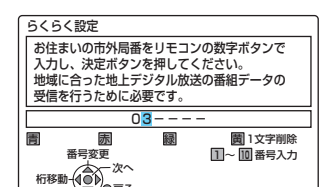
決定



- 変更したいときは、**黄** で都道府県を選んで決定します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都島部”を選びます。
 - 南西諸島鹿児島県地域は、“鹿児島県島部”を選びます。

2.3 お住まいの地域の市外局番を入力し、決定する

1 あ～10 決定



入力間違いときは、**黄** または **消去** を押します。

(3) 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

3.1 “はい”が選ばれているので、そのまま決定する



らくらく設定

地上デジタルチャンネル設定を行いますか？
設定を行う場合は「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。

次の場合、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない。
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない。
「いいえ」を選択すると、次の設定へ進みます。

はい 決定
いいえ 戻る

地上デジタル放送のチャンネルを設定しない場合は

で“いいえ”を選び、決定します。▶▶手順4.1へ

- “いいえ”を選んで設定しなかった場合は、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。時計を合わせないと、録画予約ができません。

3.2 お住まいの地域を選び、決定する



地域設定

お住まいの地域を確認し、決定ボタンを押してください。
地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。

地域選択 東京

決定 戻る

3.3 “UHF”または“全帯域”を選び、決定する



受信帯域選択

チャンネルスキャンの帯域を設定します。
通常は「UHF」を選択してください。

ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にご確認ください）

決定ボタンを押すと、チャンネルスキャンを開始します。地上デジタルチャンネル設定リストが表示されましたら、内容を確認の上、よろしければ「次へ」を選択し、決定ボタンを押してください。

UHF 決定
全帯域 戻る

UHF …… 通常はこちらを選んでください。

全帯域

ケーブルテレビ(CATV)をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているとき。

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

3.4 “次へ”が選ばれているので、そのまま決定する



地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	----
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	----
11	----	----	----
12	121	放送大学	テレビ

修正確認

修正する 次へ

項目選択 決定 戻る

“UHF”を選んで設定すると、一覧の“CH”や“チャンネル名”が“----”になって、設定ができないチャンネルがあるときは

- 決定を押して、次の手順4.1の画面を表示する
- 戻るを押して、手順3.1の画面に戻す
- もう一度、手順3.1～3.4を行う
 - このとき、手順3.3で“全帯域”を選んでください。

(4) BS・110度CSアンテナの設定をする

4.1 決定を押す



らくらく設定

衛星アンテナの種類を設定します。
次の画面でアンテナの接続状況を確認しますので、画面の指示に従って、アンテナの種類を設定してください。

決定ボタンを押してください。

次へ 決定 戻る

4.2 BS・110度CSアンテナの種類を選び、決定する



らくらく設定

マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「供給しない」を、個人でアンテナを設置している場合は「供給する」を、衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

供給しない 供給する 接続しない

項目選択 決定 戻る

供給しない（本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しません）

- 他の機器（テレビなど）から電源を供給しているとき。
- マンションなどで共同受信しているとき。
- ケーブルテレビ(CATV)で受信しているとき。

供給する（本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します）

- 本機とBS・110度CSアンテナを直接つないだとき。

接続しない

- BS・110度CSアンテナを接続していないとき。▶▶手順5.1へ

4.3 確認画面で正しく設定されたことを確認したあと、決定を押す



正しく設定されていないときは

で“再設定”を選んで決定します。

手順4.2の画面に戻りますので、もう一度設定してください。再設定をしても正しく設定できない場合は、“次へ”を選んで決定し、次の手順に進んでください。

(5) REALINK(リアリンク)の設定をする

5.1 REALINK(リアリンク)機能を有効にするかどうかを選び、決定する



らくらく設定（HDMI機器接続設定）

HDMI接続された場合、HDMI機器接続設定をすると、本機とテレビの間で連動して操作することができます。ご使用になりますか。

お使いになる場合は、「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。
お使いにならない場合は、「いいえ」を選択して、決定を押してください。

テレビによって設定や操作が異なりますが、
●テレビの電源の入切に連動して、本機の電源を自動に入切します。
●テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

はい 決定
いいえ 戻る

はい ……REALINK 機能を有効にする（使用する）とき。
いいえ ……REALINK 機能を無効にする（使用しない）とき。

(6) らくらく設定を終了する

6.1 注意事項を確認し、決定を押す



6.2 決定を押して、終了する



らくらく設定（終了）

らくらく設定はこれで終わります。
決定ボタンを押してください。

終了

- 追加のメッセージが表示される場合は、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。

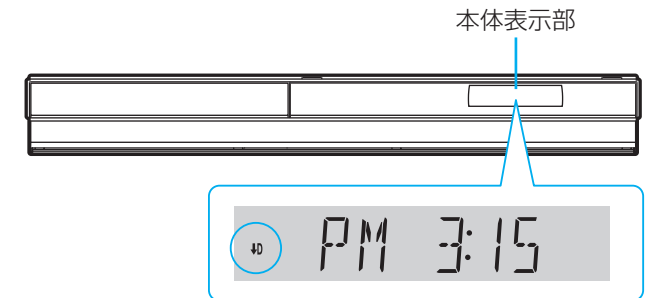
- チャンネル設定を変更したいときは、p.33をごらんになり、必要に応じて変更してください。
- 時計は、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定を行うと、自動的に設定されます。

7. 番組表(Gガイド)の番組データを受信しましょう p.40

1 本機の電源を切る（電源コードは抜かないでください）



- 本機の電源が切(通電状態)のとき、番組データの受信中は本体表示部に“↓D”と表示されます。



- 受信が完了すると、“↓D”が消えます。

本機を設置した時間帯によっては、番組表が利用できるまでに1日程度かかることがあります。

これで準備は終わりです。
取扱説明書や「かんたん操作ガイド」をごらんになり、お楽しみください。

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな？と思ったときは

三菱電機お客さま相談センター ☎0120-139-365 (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合 03-3414-9655 (有料)
FAX 03-3413-4049 (有料)

ご相談対応 平日 9:00~19:00 左記以外の時間は
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00 受付のみ可能です

それでも、取扱いや据付・設置・接続・基本設定の方法がわからないときや、故障かどうか判断がつかないときは

出張サポート(有料)の受付を行っております。

くわしくは、p.168をごらんください。